

令和7年2月19日

美深町議会議長 南 和 博 様

総務住民常任委員会委員長 小 口 英 治

所管事務調査報告

本委員会は、下記の事項について閉会中に所管事務調査を行ったので、会議規則第77条の規定により報告する。

記

調査日

令和7年2月6日

調査事項

ふるさと交流等の現状と課題について

調査内容

関係人口の増加による町の活性化

調査方法

聞き取り

○ 札幌美深会と東京美深会とのふるさと交流活動

札幌美深会は昭和37年に創設され、平成29年までは新年の集いを開催し平成30年からは「ふるさとの集い」に変更され、8月札幌開催で現在に至っている。東京美深会は平成元年に創設され、10月東京開催で実施している。また、東京美深会ふるさと訪問では7月の夏まつりに合わせての訪問交流を実施している。

交流成果としては、参加者は一様に交流を楽しんでおり、ふるさとである美深町を遠くからでも応援する意欲につながると考えられる。また、それぞれの会員による寄付・ふるさと納税・特産品の購入等も頂き、美深町にとって経済的効果もある。

一方で会員の高齢化、それに伴う会員の減少、参加者の固定化が見られる。

○ 添田町との多様な交流活動

添田町とは、赤字ローカル線であった美幸線の関係で昭和56年から交流が始まった。添田町と美深町との町民同士の交流事業として平成17年度からは3年サイクル

（訪問、受入、休み）で実施、青少年交流事業として、小中学生の訪問・受入は毎年交互に実施している。また、PR を兼ねて物産品を提供しあい、給食での食育教育でも成果がある。近年では若年層（商工会青年部）による「はちみつゆずエール」の開発もあり、継続した交流に期待が持てる。

○ （株）SUBARU と太田市との多様な交流活動

昭和 5 2 年に（株）SUBARU のテストコースが美深町に開設された事により交流が始まった。（株）SUBARU 本社表敬訪問や SUBARU 感謝祭（群馬県太田市）への参加により交流や美深町の PR を行い、美深試験場スタッフ歓迎交流会も実施している。（株）SUBARU との関係から太田市との交流が始まり、太田市スポレク祭では美深町の特産品ブースを設け農産物等の販売をしている。

（株）SUBARU の試験場は美深町にとって大変大きな存在であり、近年は森林環境保全での連携もすすめられており、知名度アップにも貢献している。

調査のまとめ

札幌美深会と東京美深会とのふるさと交流活動は、それぞれの会員が高齢になっており、若い人の会員増加が期待されている。東京美深会のふるさと訪問事業で、美深町への関心を高めるため、事前に町内の観光施設を紹介したパンフレットの配布や観光も可能な日程も検討してはどうか、との意見もあった。

町外に移転する町民に対し、ふるさと会員の加入促進につながる取り組みの研究も行う必要がある。

添田町との多様な交流活動はそれぞれの自治体にとっても良い刺激であり、商工会青年部による「はちみつゆずエール」の開発へと進展した経緯もある。そのため、若い世代同士での交流を促進し、町の観光や名産品が発展していく事を望む。青少年交流事業として、小中学生の訪問、受入れも継続的に実施し、地域学習にも資する交流の継続を希望する。

（株）SUBARU・太田市との多様な交流活動として感謝祭での特産品の出品は今後も継続し、企業や自治体との交流による町の活性化に努めて欲しい。

美深試験場への来町状況を見ると、近年の来町人数は維持されているものの、町内での宿泊利用が減少傾向であり、宿泊枠の確保や来町者の満足度アップのための、課題の洗い出し等を行い、改善すべきは早急に実施すべきである。

関係人口を増やし、町の活性化に結びつけるためにも、ふるさと会活動、多様な交流活動とも参加者が偏らないよう配慮し、若い世代の交流を含め、参加者の裾野を広げる工夫も求める。

表 1 札幌美深会ふるさとの集いの開催状況

年度	開催日	参加（美）	参加（札）	参加（他）	計
平成 26 年度	H27. 1. 17	29	45	0	74
平成 27 年度	H28. 1. 16	28	46	2	76
平成 28 年度	H29. 1. 21	29	36	2	67
平成 29 年度	H30. 1. 20	30	39	1	70
平成 30 年度	H30. 7. 28	24	33	1	58
令和元年度	R 元. 8. 3	23	25	1	49
令和 2 年度	中止	※コロナ			
令和 3 年度	中止	※コロナ			
令和 4 年度	中止	※コロナ			
令和 5 年度	R5. 8. 5	24	33	0	57
令和 6 年度	R6. 8. 3	22	24	0	46

表 2 東京美深会総会の開催状況

年度	開催日	参加（美）	参加（東・他）	計
平成 26 年度	H26. 10. 25	11	42	53
平成 27 年度	H27. 10. 24	12	43	55
平成 28 年度	H28. 10. 22	10	41	51
平成 29 年度	H29. 10. 28	11	49	60
平成 30 年度	H30. 10. 27	7	41	48
令和元年度	R 元. 10. 26	8	37	45
令和 2 年度	中止	※コロナ		
令和 3 年度	中止	※コロナ		
令和 4 年度	中止（※ 1）			
令和 5 年度	R5. 10. 28	9	40	49
令和 6 年度	R6. 10. 26	8	28	36